

# 平成29年度 学校経営計画

山形市立鈴川小学校

## 1 本校の教育目標

「豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲と実践力のある子どもを育てる」

- (1) 豊かな心をもつ子ども
- (2) 進んで学ぶ子ども
- (3) たくましい子ども

## 2 めざす子どもの姿

＜人を思いやる心、あたりまえのことや自分を支えてくれるものに感謝する心をもつ子（徳）＞

- ・身の回りを整え、周りの人や物を大切にできる子ども
- ・みんなと一緒に伸び伸びと歌うことができる子ども

＜一つ一つのことに真剣に取り組み自分を高めようとする謙虚な心をもつ子（知）＞

- ・よく考えて、自分の言葉で伝えようとする子ども
- ・日々の学習に丁寧に取り組み、一日一つ賢くなろうとする子ども

＜困難なことや失敗にもくじけないしなやかな心をもつ子（体）＞

- ・基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生活ができる子ども
- ・目標を持って進んで運動し、体と心を鍛える子ども

## 3 めざす教師の姿

「一人ひとりの子どもを大切にし、温かな思いで支え続ける教師」

- ・どの子にも寄り添い、個に応じて丁寧に支援する教師
- ・子どもとともに考え、互いに学び合う教師
- ・一人ひとりの子どもの良さに気づかせる教師

## 4 学校経営の重点と具体策

(1) 豊かな心をもつ子どもを育てるために

### ①学年・学級経営

- ・学年担任の意識を持ち、チームで情報を共有し個々の児童に組織的対応を心がける。一部教科担任制や合同授業、TT指導などを積極的に取り入れる。
- ・家庭との連携（良さを伝え、課題には早目の連絡、相談）
- ・安心できる居場所づくり（歌ったり、思いを述べたり…）

### ②教育支援

- ・特別支援教育の考えを生かした学習指導、生徒指導の推進と研修会実施
- ・個別の支援計画をもとにした支援計画の共通理解と組織的対応

### ③かかわりを大切に活動

- ・鈴っ子なかよし班活動の継続による異学年交流の推進
- ・ボランティアや奉仕活動などの体験活動を通じた学びの充実

### ④心を育む指導

- ・心を整える整理整頓指導。（下足箱、ロッカー、机の中、トイレのはきもの…）
- ・校外でも地域でも生かされる美化意識の醸成

### ⑤地域との交流

- ・学びを通じた郷土愛の醸成。（地域を学ぶ、地域とかかわる、地域に発信）

## (2) 進んで学ぶ子どもを育むために

### ①わかる喜び、できる自信を感じる授業

- ・基礎基本の定着と活用力を高める授業づくり（テストの結果、分析を指導に生かす）
- ・家庭学習の習慣化と内容の充実
- ・授業内容のモジュール化（読む、書く、考える、話し合う…）

### ②校内研究の推進

- ・主体的、対話的で深い学びを求めて
- ・進んで研修の機会を持ち、得たものを広め、日常に生かす。

### ③英語教育の充実

- ・教科化に向けた指導法の研修
- ・学びの場づくりと学びを生かす場面設定

### ④情報教育の充実

- ・ツールとして活用できるPC操作の習熟とネットモラル指導の徹底

## (3) たくましい子どもを育むために

### ①「いのち」の教育の推進

- ・交通安全教室や個人登校の実施と安全意識、行動力の向上
- ・緊急時の対応マニュアルの徹底と職員の防災訓練の実施

### ②教科体育を核とした体力・運動能力向上の取り組み

- ・できる喜びを味わい、元気いっぱい体を動かす子どもを育てる体育授業の実践
- ・運動の日常化の取り組み、外遊びの奨励、体力・運動能力の向上を図る取り組み

### ③校内外の生活指導の充実

- ・基本的な生活習慣の確立（早寝早起き、あいさつと返事、言葉づかい…）とPTAとの連携
- ・規範意識の向上（時間を守る、廊下歩行、集団行動…）、児童会と連携した活動